

## 文化振興指針の現状と課題について

### 1 現状

- 評価は「自己評価」「第三者評価」の2段階に分けて実施している。
- 指針が県総合計画（はばたけ群馬プラン）の個別計画であることから、評価基準や結果などを連携させている。
  - ・同一の評価基準を使用（文化事業特有の視点の評価基準も追加）
  - ・数値目標のある事業は、参考指標として指針の評価にも使用
  - ・重点事業以外の結果は、県総合計画の評価結果を活用
  - ・年次報告書の作成を総合計画のとりまとめ(11月)に合わせ実施
- 文化事業は、数値化や短期間の動向の変化で成果を判断することが困難な事業が少なくないことから、指針自体には数値目標を掲げていない。
- 第三者評価（審議会意見）は、具体的なコメントを文章で記載している。

### 2 課題（審議会等の意見）

#### 【自己評価】

- 担当課の主観による部分が多く、評価が甘くなりがち。
- 自己評価の結果を説明する客観的な根拠に乏しい。
- 事業が広範囲に及んでいるため、施設管理やイベントなど、内容によって評価の基準を変えないと事業に合った評価ができない。

#### 【第三者評価（審議会意見）】

- 自己評価の結果の正当性を判断することが困難。
- 現場を見ていない事業を評価することが困難。
- 複数の事業が連携して実施されて初めて意味がある事業もあり、一部を見ただけで評価するのは難しい。
- 現地調査やヒアリングを実施したい。

#### 【年次報告書】

- 結果の矢印で示すのは、曖昧でわかりづらい。
- 必要に応じて、数的根拠を提示すべき。
- 報告の結果を今後活かすには、とりまとめの時期を早めるべき。

## 評価の基準と視点について(修正後)

### 【自己評価の基準】

#### (ア) 達成度 (個別目標の達成に向けた、事業の進捗状況)

1. 未実施 [実施していない(目標達成による終了を除く)]
2. 悪化 [前年度末と比較して状況が悪化]
3. 横ばい [前年度と同様の内容で継続]
4. 改善 [新規事業の開始、規模拡大、内容の改善]
5. 目標達成 [個別目標の達成、目標を達成したことを理由とする事業完了]

#### (イ) 今後の方向性 (個別目標の達成に向けた事業の今後の方向性)

1. 廃止、休止、終了 [事業の廃止、休止、終了、期間の満了]
2. 一部廃止、縮小、統合 [一定の業務の廃止・休止、事業費の削減、他事業との統合]
3. 拡充 [事業の拡大、事業費の増大が必要]
4. 継続 [今年度と同様の内容で継続実施が必要]

### 【評価の視点】

#### (ウ) 事業の実施結果に対する評価

次の視点からみた事業の現状を選択し、理由を簡潔に記入する。

1. 低い [該当する項目がない。改善するべきだが未実施]
2. やや低い [該当する項目があるが成果に繋がっていない]
3. 普通 [該当する項目があり、また、成果がある]
4. やや高い [複数に該当している、または、特定の項目で大きな成果がある]
5. 高い [複数に該当している、また、複数の項目で大きな成果がある]

#### ①有効性 (個別目標の推進に貢献しているか)

- ・結果、成果を示す項目の実績値が順調に推移しているか。
- ・定期的に見直しを行っており、実績値も改善されているか。
- ・他事業と統合することで、より効果を高めているか。
- ・民間団体、市町村等と協働、連携し、より効果を高めているか。

#### ②効率性 (事業に投入したコストに見合う活動ができたか、コスト削減に努めたか)

- ・効果が最大となるための方法をとっているか。
- ・民間委託等、より少ない経費で同等の効果を上げているか。
- ・特定財源を活用している。既収収入の増や新たな収入を確保に努めているか。
- ・民間団体、市町村等と協働、連携しているか。

#### ③必要性 (事業は個別目標の達成に必要不可欠か)

- ・行政(県)の責任分野を超えた、必要以上にサービスの提供ではないか。
- ・県民、団体等の自主性、主体性を尊重しているか。
- ・国、市町村、NPO、企業等と役割を分担している。または協働、連携しているか。
- ・NPO、ボランティアの活動領域と重なっていないか。
- ・社会経済情勢に合わせて事業の見直しを行っているか。

#### ④独自性 (文化的・芸術的な視点があるか、指針独自の方向性と合致しているか)

- ・文化的、芸術的、独創的な魅力を高める工夫をしているか。
- ・県民の自主性、創造性を促しているか。
- ・情報発信を積極的に行い、目的や対象に合致するデザインや媒体で行っているか。
- ・本県特有の文化の価値を高めることに繋がっているか。
- ・文化の継承及び発展、文化活動を支える者や団体の育成に繋がっているか。

基本目標			
施策体系			

担当所属	事業名	内 容
		【個別目標】
		【事業内容】
		【目標に対する成果を示す項目】

担当所属による自己評価	事業の実績(成果)		事業費	千円	資料	
	自己評価(達成度)					
	評価視点	有効性				
		効率性				
		必要性				
		独自性				
今後の方向性						

参考指標	県総合計画の目標・指標	【策定時】 24年度実績	【前年度】 25年度実績	【調査年度】 26年度実績	【最終年度】 27年度目標

文化審議会 意見	
-------------	--